

ジョブデザイン・サポートプログラム

気分障害等の精神疾患で休職中の方のための

ワーク基礎力形成支援

## はじめに

障害者職業総合センター職業センターにおいては、気分障害等の精神疾患により休職中の方々の職場への再適応を支援し、離職の防止と雇用の安定を図るため「精神障害者職場再適応支援プログラム（JDS P：Job Design Support Program、以下「JDS P」という。）」を実施し、ストレス対処、アンダーコントロール、対人技能、作業遂行に係る復職に向けて必要となる各種スキルの付与に取り組んできています。

こうした中であって、気分障害等を有する休職者が復帰後に職場への適応と継続を実現するためには、職業上の課題に気づき、自分自身のキャリアを振り返りながら、復職後の働き方を見つめ直すことが有効ではないかとの考えの下、平成23年度からワーク基礎力を形成するための支援技法の開発に取り組んできました。

本マニュアルは、気分障害等の精神疾患による休職者の方々の復職支援現場において活用していただくために、支援の目的、内容、実施に係る留意点に加え、支援者向けの参考情報、「ワーク基礎力形成支援」におけるキャリア講座のグループディスカッション場面の映像（DVD）、使用する配付資料などのデータ（CD-ROM）を盛り込み、わかりやすく、活用しやすくまとめています。

本マニュアルが、職業リハビリテーションサービスの質的向上の一助となれば幸いです。

なお、本支援技法の開発にあたり、医療法人社団弘富会神田東クリニックMPSセンター長 大庭さよ先生から産業精神保健の専門的知見に基づきご助言を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

平成30年3月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
障害者職業総合センター 職業センター  
職業センター長 春日 利信